

平成30年度 平和祈念展示資料館運営業務 評価表

委員名： _____

1 業務履行状況

評価項目	評価	所見・指摘事項等
① 業務の目的	・業務の趣旨を理解し、基本方針に従い、目的の達成に努めているか。	
② 運営管理業務	・円滑に業務を実施するため、明確な責任体制を確立し、計画的に遂行しているか。 ・管理運営総合マニュアル等は適切な見直しを行い、遵守されているか。 ・運営要員等の資質を高めるための研修は実施されているか。	
③ 施設管理等業務	・施設等管理、館内日常管理点検等が適切に実施等されているか。 ・館内にアテンド、警備員を配置し、受付・案内業務、来館者の安全対策等が適切に実施されているか。	
④ 所蔵資料の保管・整理業務	・所蔵資料の公開等について、外部有識者で構成される検討委員会を開催し、計画的に進めているか。 ・所蔵資料の収納方法の改善を適切に実施しているか。 ・所蔵資料の劣化防止等保存措置を適切に実施しているか。	
⑤ 常設展示業務等	・実物資料等展示物を適切に管理し、資料保護の観点から、定期的に変更・更新を行っているか。 ・様々な視点で企画した館内展示を実施しているか。 ・GW、夏休み等にあわせて館内での交流イベントを実施しているか。 ・語り部を館内で定期的に配置し、証言を映像等で記録しているか。 ・英語への翻訳は、計画的に実施しているか。	
⑥ 館外活動業務	・国民の理解を深める機会を提供するため、地方巡回展等を開催しているか。 ・多様な形態で、より効果的な特別企画を実施しているか。	
⑦ 広報等業務	・資料館や館外活動に関する効率的、効果的な広報を実施しているか。 ・インターネットを通じた幅広い情報発信を行っているか。 ・来館者の調査分析を行い、来館促進や展示内容に反映しているか。	
⑧ 業務体制	・外部有識者より、館の顔となる「名誉館長」を配置しているか。 ・必要な能力を有する運営要員を配置しているか。 ・業務を着実かつ円滑に履行するため、受託業者本社内で必要な支援チームを構成し、連携して業務全体の推進支援を行っているか。	
⑨ 関係会議への対応	・アドバイザーボードにおける資料の作成、会議における説明など適切に対応しているか。 ・厚生労働省、昭和館、しょうけい館等で構成される会議について、資料作成の準備及び出席を行っているか。	
⑩ 報告書等の提出	・運営業務にあたっての実施計画及び報告書等の各種提出書類は、納期までに提出されているか。	

<評価基準>

- A : 適切になされている (又は見込まれる)。
 B : 努力・改善すべき点はあるが、おおむね適切になされている。
 C : 適切になされていない。

2 事業計画の提案 (平成31年度)

評価内容	評価	所見・指摘事項等
① これまでの実績を踏まえた上で、適切な調査・分析に基づいた提案内容となっているか。		
② これまでの実績を踏まえた上で、ポイントを押さえた体系的な計画となっているか。		
③ これまでの実績を踏まえた上で、時代情勢を正確に把握し、斬新・先進的なアイデアがあるか。		
④ これまでの実績を踏まえた上で、実施計画が適切であり、実現性は具体的に見込めるか。		

<評価基準>□□

- A : 優秀と認められる。
 B : 改善点はあるが、おおむね優秀と認められる。
 C : 優秀と認められない。

3 総合評価

評価

<評価基準>□

- A (5点)・・・業務履行状況等が適切であり、次年度の事業計画も優秀と認められるため、次年度も現行の委託業者に業務委託してよい。
 B (3点)・・・努力・改善すべき点はあるが、次年度も現行の委託業者に業務委託してよい。
 C (1点)・・・再度、業者選定のための公募を行ったほうがよい。

※ 1～3において、評価基準BまたはCの評価をつけた場合は、具体的な改善すべき点 (指摘事項) 等を「所見・指摘事項等」欄に記載していただきますようお願いいたします。